



高円宮杯 2013ホッケー日本リーグ【 女子 】 第4節 3日目

開催日時 5 月 12 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30	コカ・コーラウエストレッドスパークス 5	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
第2試合 11:10	山梨学院 CROWNING GLORIES 0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	2	南都銀行SHOOTING STARS
第3試合 12:50	東海学院大学 0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	3	グラクソスミスクライン
第4試合 14:30	ソニーHC BRAVIA Ladies 4	$\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	立命館ホリーズ

【各試合の結果・詳細】

第1試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

<得点>

CCWR : 34分 李、39分 駒澤、62分 三橋、65分 李、65分 岩尾

天理大学 :

<戦評>

天理大学ベアーズのセンターパスにより試合が開始。開始早々、コカ・コーラウエストレッドスパークスは天理大学陣内で、多彩な攻撃を展開する。6分PCを取得。#8李のボールに#16金がタッチで合わせ得点を狙うが天理大学の堅い守りに先制することが出来ない。その後もコカ・コーラはボールを支配し、猛攻を仕掛けるも天理大学の全員守備による必死のDFに、先制点が奪えない。天理もカウンターから28分PCを取得。#8森がループシュートで狙うがチャンスを生かすことが出来ない。コカ・コーラは33分25ヤード内で倒されPCを取得。34分#18李がスイープシュートで決め、待望の先制点を挙げる。1-0のまま前半戦を終える。

後半もコカ・コーラのペースでゲームは進む。37分、39分と立て続けにPCを取得。#18李のスイープに#11駒澤が飛び込み追加点を挙げる。さらに、62分に#7三橋が豪快なヒットシュートを決め3-0とする。攻撃の手を緩めないコカ・コーラは65分にPCを取得。#18李がスイープシュートを決め4-0とする。さらに、65分ボールをインターセプトしたコカ・コーラは#9新井が左サイドをえぐり込み折り返しを#21岩尾が合わせ5-0とする。そのまま試合は終了しコカ・コーラが勝利した。

テクニカルオフィサー	加藤 直美	アンパイア	西間庭 浩
リザーブ	山田 恵美		石橋 徹也
ジャッジ	刈谷 和代 山本 誠		

第2試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 2 南都銀行SHOOTING STARS

<得点>

山梨学院 :

南都銀行 : 14分 小森、19分 眞鍋

<戦評>

山梨学院大学CROWNING GLORIESのセンターパスにより試合が開始。両チーム激しいボールの奪い合いが繰り返される。最初にチャンスを作ったのは、南都銀行SHOOTING STARS。14分#15小森がDFをかわしヒットシュートを決め、先制点を挙げる。その後立て続けにPCを取得。19分#3眞鍋が豪快なヒットシュートを決める。その後も南都銀行優位にゲームは展開するが、山梨の堅い守りに追加点を挙げる事が出来ず前半を終える。

後半に入っても、一進一退の攻防は続く。両チームとも決定的なチャンスを得ることなくゲームは進む。互いに最後まで積極的に攻撃を仕掛けるも粘り強いDFにゴールを割ることが出来ず2-0のまま試合は終了。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	壽山 由樹
リザーブ	安岡 裕美子		我妻 順子
ジャッジ	鹿野 育郎 下島 多美子		

第3試合

東海学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 グラクソスミスクライン

<得点>

東海学院 :
グラクソ : 5分 若柳、42分 片峯、62分 大石

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより試合が開始。開始5分グラクソスミスクラインは#6中畝地がシュートを打ち#10若柳が合わせて先制点を挙げる。グラクソは12分にも決定的な場面を作るが東海学院#5早坂のファインプレーにより阻まれる。対する東海学院は24分PCを取得するが得点には繋がらない。その後グラクソは素早いカウンターからゴールを狙うも東海学院の堅い守備により追加点を奪えず1-0で前半を終える。

後半に入ると、一進一退の攻防が続く。37分グラクソはPCを取得。東海学院#12GK清水に止められ、得点できない。続く41分にもPCを取得。42分#3伴田のボールを#8片峯が合わせ2点目を挙げる。続く61分にもPCを取得。62分#2平山からのパスを#7大石が決めリードを広げる。東海学院も#8真野が積極的にゴールを狙うが得点には至らない。試合は終始グラクソのペースで進み、3-0でグラクソが勝利した。

テクニカルオフィサー	加藤 直美	アンパイア	藤村 利道
リザーブ	石橋 徹也		山田 恵美
ジャッジ	山本 誠 刈谷 和代		

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 立命館ホリーズ

<得点>

ソニー : 9分 徳島、11分 徳島、21分 中島、70分 金
立命館 : 16分 山内、63分 山下

<戦評>

立命館ホリーズのセンターパスにより試合が開始。ソニーHC BRAVIA Ladiesは6分PCを取得。先制点を狙うが得点には至らない。9分#19小沢のセンタリングを#7徳島がゴール前で合わせ先制点を挙げる。続く11分にも#7徳島がゴール前でもらい、リバースシュートを決め、2点目を挙げる。対する立命館も16分#10山内のシュートをソニーのDFがオウンゴールし点差を縮める。21分ソニー#10中島が豪快なリバースシュートを決め、3-1となる。34分立命館はPCを取得。決めきることが出来ず、ソニーリードで前半を折り返した。

後半に入り、ソニーは立命館陣内に攻め込むも堅い守備にあい、追加点が奪えない。63分立命館はPCから#12山下がヒットシュートを決め1点差に詰め寄る。対するソニーも67分にPCを取得。立命館DF#2内藤とGK#1要石のファインプレーによって得点できない。70分ラストプレーでPCを取得。#9金タッチシュートを決め4-2でソニーが勝利した。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	相馬 知恵子
リザーブ	我妻 順子		安岡 裕美子
ジャッジ	下島 多美子 鹿野 育郎		